

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Doorly東初富		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 20日		～ 2026年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 19日		～ 2026年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性を意識したタイムスケジュールで管理を行っている	・ルーティンが大事な子どもたちもいるので、毎日タイムスケジュールをホワイトボードで見える化 ・自由時間を基本的に設けてなく(～15時までは自由時間)、おやつ・学習・プログラムと切り替えを意識したタイムスケジュールになっている。	・時間は管理しているが、決して縛られないよう子どもたちの個性を伸ばせるような施設環境を含めて声掛けなどを行っていく。
2	地域の方との連携した事業や専門の方からの話など子どもたちの可能性を広げている点	・自立支援協議会など地域の福祉事業所の方々と積極的に意見交換できる場に参加している。 ・商工会など地域の企業の経営者などに理解してもらうための伝える機会を作っている。 ・性教育やダンス、かけっこ教室など専門家を招いた課外事業を行っている。	子どもたちが社会へ向けた支援が行えるように、スタッフにも多くの機会を提供し、フィードバックしてもらいたい。
3	BCPや虐待防止等研修を定期的に行っている点	毎週月曜日に両事業所で研修を行っています。研修は管理者など特定のスタッフが行うだけでなく、若手スタッフも外部で学ぶ機会を提供し、それをアウトプットする機会にもしているためスタッフのキャリアアップとしてもロジックを作っています。	バランスの良いスタッフに成長してもらえるように、障がい分野だけでなく違う角度からの研修など機会を提供

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業が安定した運営のために、余裕ある職員配置が必要	5年目の安定期に入り、鮮度といった惹きつけるブランド力が弱い。 平日の定時が10時～19時で主婦など女性職員が定着しづらい。	新卒者の採用をするために、周辺地域の学校周り知人からの紹介をいただくために魅力ある伝え方や機会を作っていく 安定している時期でも常に受け入れできるように費用をかけておく
2	保護者間交流が少ない	事業所と保護者様の意見交換だけでなく、多角的に意見交換できる場があることで日々の悩みが少しでも軽減できるような機会が必要と考えてます。	性教育の勉強会等数名の保護者の方と意見交換をすることはありましたが、こういった意見交換会を定期的に提供できるように目指していく。 特別プログラムという保護者参加型事業もあるのでこういった機会をうまく使って意見交換を行っていく。
3	地域の幼稚園・保育園などの連携	送迎時の申し送り程度でしっかりと話し合う時間が少ないと感じています。	担当者会議等、相談員や通っている幼稚園保育園の先生、保護者の方々と情報共有の場を作って連携した支援体制を構築していく。